



実践テーマ

消えたことばは何？ 隠されたことばを考えて、上位語・下位語の使い方を確実に理解する。

授業の進め方、デジタルテレビ等活用の仕方

- 導入：デジタル教科書※を活用し、学習する本文を提示。重要語句を電子黒板のマーカー機能※で消し、前時の学習を想起させることで、重要語句に対する意識を高めるとともに、学習への意欲を高める。（興味関心を高める）
- 展開：・グループ作業の仕方を実物投影機で示す。（活動の流れを理解させる）  
・身の回りのいろいろな言葉について、名前カード（単語カード）を使いながら、グループで話し合い、上位語と下位語に分ける。  
・どのように分けたか、実物投影機を用いて発表する。（発表力を高める）
- まとめ：デジタル教科書を活用し、まとめの文を提示、ものの名前の部分をマーカーで消し、いろいろな名前に入れ替えてまとめの文を完成させる。（理解を確実にする）

本時の展開

主な学習活動		
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	・前時に学習した重要語句をマーカー機能で消し、その部分にどんな言葉が書かれていたか、児童に発表させながら、学習内容を思い起こさせる（静止画①）。 ・教科書以外にも、色々な名前を分けることができることに気づかせ、学習の意欲を高める。	●デジタル教科書
展開	・たくさんの名前カードを「一つ一つの名まえ」「まとめてつけた名まえ」に分ける方法を、実物投影機で教師が実演し（実物）、作業の流れをつかませる。 ・グループごとにカードを完成させ、代表が実物投影機を使って、カードをどのように分けたか発表する。	●実物
まとめ	・教科書本文の「一つ一つの名まえ」「まとめてつけた名まえ」をマーカーで隠し（静止画②）、他の言葉と置き換えて、まとめの文章を完成させ、ノートに書く。	●デジタル教科書



本文の重要語句をマーカー機能を使って消し、児童に発表させながら振り返りを行う



実物投影機を使ってグループ作業の結果を報告する



言葉の入れ替えをする部分をマーカーで隠し、ノートにまとめさせる

児童の反応・効果

- ・電子黒板上で、本文の重要語句を消したことで、言葉や文の構造に注目させることができた。
- ・カード操作の仕方について、教師の手元の動きを拡大して見せたことで、活動の流れを全員が視覚的に理解し、スムーズに操作活動を進めることができた。
- ・自分が作ったワークシートを実物投影機で提示しながら発表するので、自信をもって、発表することができた。

活用のポイント

- ・教科書本文の重要語句を常に同じパターンでマーキングしたり、隠して推測させたりするなど、“隠す”“見せる”を効果的に活用することで、読み深める上で大切なことばや文の構造の理解が深まる。
- ・挿絵だけ提示する機能を利用すると、上位語・下位語の関係を視覚的に捉えることができ、理解を確実にするのに効果的である。

※デジタル教科書とは、画面上で教科書の紙面を大きく提示でき、イメージをつかみやすくするアプリケーションソフト。音声や映像も収録されている。

※マーカー機能とは、画面上に半透明に書込み、色を濃くすることができる電子黒板の機能。蛍光ペンとも言う。